



三菱大夕張鉄道保存会

会長 奥山 道紀 様

私たち保存会は、貴重な産業遺産の保存で新たなまちづくりをめざして活動しています。毎年9月には南大夕張駅跡で「汽車フェスタ」を開催し、地域の方や鉄道ファンが楽しく交流しています。存在感満点のラッセル車の翼も開閉して皆さんに触れてもらいます。保存車両もこの日ばかりは、生き生きとかつての空気をよみがえらせてくれるようです。

様々な活動がありますので、是非、皆さんもご参加ください。

ホームページ：www.ooyubari-rps.net/

国道452号沿い夕張市南部東町の三菱旧南大夕張駅跡地に、ラッセル車（キ1）、車両（貨車セキ1・2）、客車（スハニナハフ1）などが保存されており、2001道遺産に、2007年には経済産業省の近代として認定されています。

三菱大夕張鉄道は、夕張市の清水沢～間を結んでいた三菱石炭鉱業（←三菱大夕張鉱業←三菱合資鉱山部）の鉄道です。44）年、大夕張炭坑の専用鉄道として清（後の南大夕張）が開通。1929（昭和4）北部開発に伴い通洞（後の大夕張炭山）

石炭産業の記憶を今



汽車フェスタ2016



表紙・目次：ラッセル車「キ1」

全長：約11.4m 全幅(翼全開時)：約4.5m 自重：約28t
製造年：1940(昭和15)年 製造工場：苗穂工場

「ラッセル」とは、日本で最初に輸入された雪かき車がアメリカのラッセル・アンド・スノープラウ社だったことに由来します



大夕張鉄道
石炭運搬用
6・オハ1・
年には北海
化産業遺産

大夕張炭山
張炭礦←三
1911（明治
水沢～二股
年、炭鉱の
まで延長さ

れました。1939（昭和14）年には、地方鉄道となり従来便乗扱いであった旅客も正式に営業を開始しました。

三菱大夕張炭鉱は、夕張市の夕張川上流で操業していた三菱鉱業(株)経営の炭鉱で1929年操業を開始、優良な鉄鋼コークス用原料炭を算出し、坑内から湧出するメタンガスを原料としたメタノールの製造も行われていましたが、1970（昭和45）年、隣接する南部地区で三菱南大夕張炭鉱の出炭が開始され、1973（昭和48）年に閉山しました。

南大夕張炭鉱は、夕張市最後の炭鉱として期待されていましたが、1985（昭和60）年のガス爆発事故、海外からの低価格の原料炭の輸入などにより、1990（平成2）年に閉山しました。



に伝える 三菱大夕張鉄道

